

【DTS】健康経営優良法人(ホワイト500)を5年連続認定

社員の健康増進と職場環境の向上を推進し、働きがいのある職場づくりに貢献

株式会社DTS（東京都中央区、代表取締役社長 北村 友朗）は、3月9日、優良な健康経営を実践している法人に対し、経済産業省と日本健康会議が認定する「健康経営優良法人（ホワイト500）2026」に認定されました。2022年から5年連続の認定となります。

今後もDTSは健康経営を推進し、社員の健康増進と職場環境の向上に努め、働きがいのある職場づくりに貢献してまいります。



【DTSの健康経営方針】

DTSグループは、行動規範の一つである「人権の尊重・働き甲斐のある職場づくり」に基づき、すべての社員が心身ともに健康で、いきいきと働き、その能力を発揮することで、個人も会社も成長し続けることを目指しています。

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

【DTSの健康経営の取り組みについて】

1. 健康推進室の設置

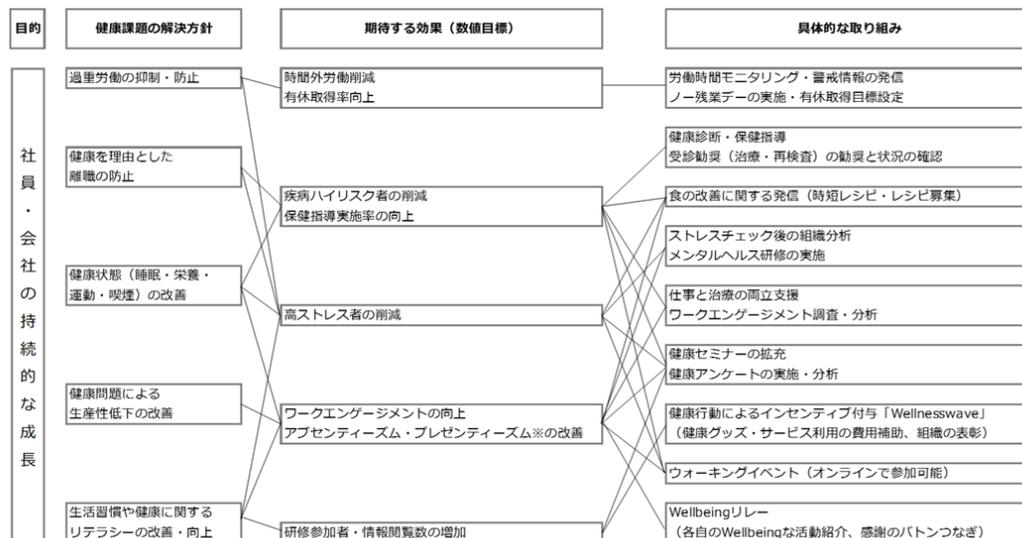
2018年に「健康企業宣言」を行うとともに社内に「健康推進室」を設置し、産業医と保健師が常駐しており、社員が身体的な不調やメンタルヘルスに関することについて速やかに相談できる体制を整備しています。



健康推進室メンバー

2. 健康課題の実施計画の策定・推進

「健康診断分析」「健康アンケート」などから健康課題を把握し、優先的に取り組む課題を決め、実施計画（健康経営の戦略マップ）を策定・推進しています。



※ アブセンティーズム：個人が体調不良などにより欠勤する状態
 プレゼンティーズム：出勤はしているが、心身の健康上の問題で十分にパフォーマンスが上がらない状態
 ワークエンゲージメント：仕事に関連するポジティブで充実した心理状態（活力・熱意・没頭）の状況

3. 健康指導強化による予備軍の削減

「社員の健康診断結果に対する健康リスク指標の見直し」を定義し、健康指導（受診勧奨）の対象を広げハイリスク予備軍の削減に取り組んでいます。

4. 健康セミナー・健康増進施策の実施

社員やその家族などが自宅から手軽に参加できる健康セミナー・オンラインヨガ・ウォーキングイベント等を開催しています。また、全社員参加の「Wellness wave（健康増進活動をポイント化したもの）」を開催し、インセンティブを付与するなどの工夫を行っています。

その他、DTSの健康経営の詳細については、下記をご参照ください。

<https://www.dts.co.jp/sustainability/social/health/>

<株式会社DTSの概要>

DTSは、総合力を備えたトータルシステムインテグレーター（Total SIer）です。主に金融、情報通信、製造、公共、建築分野向けに、コンサルティングからシステム設計・開発、基盤構築・運用までをワンストップで提供します。

また、DTSグループは、システムに関わるさまざまな専門性を活かした付加価値の高いサービスを提供します。

<https://www.dts.co.jp/>

本社所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社DTS 人事部健康推進室 担当：星山

TEL：03-6914-5379 E-mail：kenkou@dts.co.jp

<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社D T S 広報部 担当：細田、蛭田

TEL：03-6914-5463 E-mail：press@dts.co.jp